令和　3　年度事業評価シート

PLAN(計画)　　自己評価

事務事業番号	38

担当課	総務課	担当課長	久芳 浩二
事業担当者	木下 雅博	一次評価者	亀井 玲子
事業区分	継続事業	事務事業評価の履歴	有
事務事業名	交通安全啓発事業		
予算科目	2 款 1 項 7 目		
予算事業名	交通安全対策総務費		
総合計画での位置づけ（施策名）	安全なまちをつくる		
事業の性格	自治事務		
法令根拠等	交通安全対策基本法		
事業の対象	全住民		
事業の目的	登校時の子どもたちへの安全指導、交通安全県民運動期間の交通安全啓発活動などを通して町民の交通安全への意識の高揚を図る。		
実施期間	開始年度：平成 25 年度から		
	終了年度：令和　年度まで		
事業の内容	交通指導等を実施し、交通安全啓発を行う。また、通学路の安全確認等を実施し、危険防止対策を行う。		

目的達成の指標（成果指標）：町内における交通事故の発生件数

区分 年度	単位	2　年度	3　年度	4　年度	5年度
目標	件以下	85	85	85	85
実績	件以下	68	76		

指標設定の考え方	交通事故を防止するために安全指導、啓発活動を行っているため。
計画時の懸案事項	一般車両の速度超過等、交通ルール違反。
計画時の懸案事項への対応	警察と連携し広報紙への啓発記事掲載を行うとともに、青パトを活用した安全啓発や速度超過の抑制等を行う。

PLAN（計画）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　1,475 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	5 年度予算
事務量	① 人工数	0.55	0.55	0.55	0.55
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,898	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	4,208	3,948	4,343	4,343
事業費	直接事業費	8,827	9,689	9,174	9,174
	人件費	4,208	3,948	4,343	4,343
	合計	13,035	13,637	13,517	13,517
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	13,035	13,637	13,517	13,517
	合計	13,035	13,637	13,517	13,517

事業費計画

（千円）

区分／年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
目標	8,827	9,689	9,174	9,174	9,174
実績	6,948	8,077			

事業活動の実績（活動指標）

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
安全指導	回	8	10	10	10
		9	8		
啓発活動	回	40	42	42	42
		42	42		
交通誘導等活動	回	14	14	14	14
		8	8		

DO（実施）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　1,292 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度決算	3 年度予算	3 年度決算	4 年度予算
事務量	① 人工数	0.55	0.55	0.55	0.55
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,022	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	4,208	3,948	3,862	4,343
事業費	直接事業費	6,948	9,689	8,077	9,174
	人件費	4,208	3,948	3,862	4,343
	合計	11,156	13,637	11,939	13,517
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	11,156	13,637	11,939	13,517
	合計	11,156	13,637	11,939	13,517

実施備忘録

CHECK（評価）

No.3

自己評価	評価者	木下　雅博

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1　　↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
□ 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
□ 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	5	
□ 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
□ 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
☑ 町が実施主体となることが法令等により定められている。 **※該当する場合は左の□にチェックしてください。**		
□ 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	5	A
□ 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	5	
□ 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
□ 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
□ 事業の手法・活動内容は適切である。	5	
□ 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	5	
②効率性		
□ 事業費に見合った成果を上げている。	5	A
□ 外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	4	
□ 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
□ 受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	5	A
□ 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	5	
□ ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	5	

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□ A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	
☑ B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	
□ C見直し	
□ D廃止	
□ E完了	

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

4. 自己評価の理由（必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から）

交通安全は町民及び町内で活動する人の身体・生命・財産の安全に関わることであり、また安全・安心な生活環境づくりに欠かせない重要なものであることから、上記のとおりとした。

5. 成果実績の評価（今後の方向性等について具体的に）と課題認識

町内で重大な交通事故は発生していない。町内の県道では、交通量も非常に多く、交通事故の可能性は潜在的に多くなっている。今後も事故防止の啓発活動を継続して、交通安全意識の向上を図っていきたい。行事における交通誘導等活動については新型コロナウイルスの影響行事が中止となりで実施できなかった。

CHECK（評価）

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

一次評価　評価者　亀井　玲子

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
□ 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
□ 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
□ 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
□ 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
☑ 町が実施主体となることが法令等により定められている。　※該当する場合は左の□にチェックしてください。		
□ 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	A
□ 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
□ 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
□ 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
□ 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
□ 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		
□ 事業費に見合った成果を上げている。	4	B
□ 外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	4	
□ 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
□ 受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	5	A
□ 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
□ ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	5	

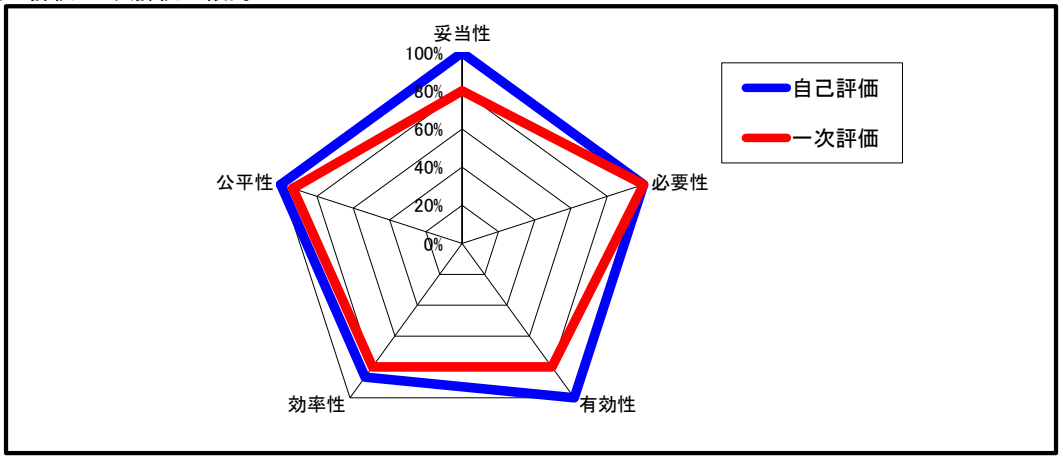
今後の方向性　A・B＝目標達成できたもの　C・D＝目標達成できていないもの
□ A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
☑ B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□ C見直し
□ D廃止
□ E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

一次評価の理由（今後の方向性等について具体的に）

重大な事故等は発生していないが、交通事故の件数は若干増加している。新型コロナウイルス感染症対策のため一部自粛した活動もあるが、事故防止等の啓発活動は今後も積極的に行っていき、特に飲酒運転撲滅への対策を強化していく。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

二次評価

評価者	久芳　浩二

□ A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

☑ B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

飲酒運転撲滅については年度末に2件同時発生したことを踏まえ、更なる啓蒙活動を行うとともに、自転車・歩行者の安全指導を強化する。

□ C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

□ D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

→ 外部評価委員会で評価する。
月　日開催予定

□ E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

□ 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

→ 一次評価をやり直し、
月　日までに提出すること。

□ 評価終了
□ 外部評価へ

ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

外部評価

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		外部評価委員の意見

経営者会議

経営者評価	町長

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		経営者会議の結果

令和　5　年度予算要求事項（今後の取り組み）